

イシビル科（ヒル目）

河川で最も普通に見られるヒルの仲間です。ヒルといえば全ての種が人間にくっついて吸血するというイメージを持たれている人も多いようですが、グロシフォニ科やイシビル科は人間から吸血することはありません。



シマイシビル



イシビル科の一種

ヒルド科（ヒル目）

緑色で中央に縦すじがある大型のチスイビルは陸生のヤマビルとともに人体から吸血することで有名なヒルです。主に水田などにすんでおり、河川で見つかることはほとんどありませんが、水田近くの河川の淀みなどでは稀に見つかることがあります。



チスイビル

グロシフォニ科（ウオビル目）

白っぽい色をした半透明な小型のヒルです。動きは他のヒルと同様に体を伸縮させながら移動します。



ヒラタビル



ハバビロビル

ミズムシ科（ワラジムシ目）

ダンゴムシや海岸にいるフナムシなどに近い仲間です。福岡県下の河川に生息しているのはミズムシ1種のみで、汚れた河川に生息していますが、上流部でも落ち葉がたまたた淀みなどでは見つかることがあります。ダンゴムシやワラジムシの仲間は全て脚は7対14本です。この脚がついている部分が胸部になります。



ミズムシ

陸生のワラジムシやダンゴムシと間違いやすいのですが、ミズムシは腹部が節に分かれず融合して1つになっていることで区別されます。また、ダンゴムシのように体を丸くすることはできません。ミズムシは、泳ぎは得意ではなく、水中の落ち葉や石の上を歩き回っています。



陸上で見つかるオカダンゴム
シ

腹部（陸生のダンゴムシ、ワラジムシ等は多数の小さな節からなっています）

コツブムシ科（ワラジムシ目）

河口近くの塩水の影響がある場所で見られます。本科はミズムシ科と違って水中を泳ぐことが得意で、ダンゴムシのように体を丸くすることができます。



イソコツブムシ属の一種

ヨコエビ科（ヨコエビ目）

名前のとおり横向きになって移動する、小型の甲殻類です。きれいな河川で落ち葉がたまたた場所等に生息しています。近年外来種のフロリダマミズヨコエビ（マミズヨコエビ科）が日本各地で確認されており、この種は多少汚れた河川でも見つかっています。



ニッポンヨコエビ

体色は赤みを帯びた明るい色から黒褐色まで様々な個体があります。水中の落ち葉などを食べています。

ヌマエビ科（エビ目）

植物が繁茂した川岸に生息している小型のエビの仲間です。福岡県下にはミナミヌマエビが最も普通に生息しており、ため池などでも見られます。河口近くではミヅレヌマエビなども見つかります。



色が薄い個体



色が濃く背中のすじが明瞭な個体

ミナミヌマエビ

体色が濃く背中に淡褐色の縦すじが明瞭な個体と、体色が薄くすじが認められない個体があり、一見別種のように見えます。水槽でも容易に飼育可能ですが、室内では体色は薄く変化することが多いようです。

テナガエビ科（エビ目）

ヌマエビ科よりは一回り大きなエビの仲間で、食用にされる場合もあります。福岡県下ではテナガエビとスジエビがよく見られます。



テナガエビ
河川中下流域で見られます。



スジエビ
水草が繁茂した川岸に生息しており、ため池などでも見つかります。

アメリカザリガニ科（エビ目）

大型で赤い個体がアメリカザリガニで小型で褐色の個体は在来のザリガニだと勘違いされている人も多いようですが、これは成長に伴う変化で、福岡県下で見つかるのは全て北米原産のアメリカザリガニです。日本原産のザリガニ（ニホンザリガニ）は九州には分布せず東北以北のきれいな水域に生息しています。アメリカザリガニは、ため池や小水路、緩やかな流れの川岸などに生息しています。



アメリカザリガニ

サワガニ科（エビ目）

水辺の人気者です。雨上がりには陸上に上がっている姿もよく見かけます。夏季には腹部に稚ガニを抱えた母ガニも見つかります。



サワガニ

イワガニ科（エビ目）

河口部にはアシハラガニやベンケイガニ類など様々なイワガニ科の種類が生息しています。淡水域で見つかるイワガニ科の種類としてモクズガニが知られており、繁殖は河口付近で行い子ガニは川を上がっていきます。淡水域で見つかった場合も、モクズガニはサワガニと比べるとより大型で、はさみに毛の束があること、体の側縁に切れ込みがあること等で容易に区別可能です。モクズガニは食用にもされ、福岡県下ではツガニの名称でよく売られています。



モクズガニ
川の上中流部でも見つかります



ケフサイソガニ
河口部でよく見かけるカニで、はさみに泥がついているように見える房状の毛があり、腹部に黒い斑紋があります。



クロベンケイガニ
泥質の河口部で見かける比較的大型のカニです。



ベンケイガニ
赤い色が鮮やかなカニです。よく似た色をしたアカテガニとは側縁に切れ込みがあることで区別されます。



アシハラガニ
名前のとおり河口付近のアシ原の中でよく見つかります。